

かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第154号

令和5年3月20日

企画・編集：広報部 発行責任者：泉 聡二
事務局：Tel(36)3985 Fax(36)2677
メールアドレス：c-kanesa@net1.jway.ne.jp
ホームページ：https://c-kanesa.org/

向こう5年間のコミュニティプランが完成

令和4年度、大きな方針である金沢学区コミュニティ推進会における向こう5年間の中期計画である「コミュニティプラン(令和5年～令和10年)」を作成しました。

昨年の2月に各支部の住民の皆様へアンケートを実施し、3月にその集計結果を速報でお知らせし、その集計結果をもとに「コミュニティプラン(令和5年～令和10年)」を作成しました。今後のコミュニティ活動は、この方針に沿って2027年までコミュニティ活動を続けてまいります。

新型コロナウイルス感染防止の観点から過去2年間は、思うように事業活動ができませんでしたが、令和5年度からは活発に活動できる環境に入るものとして計画しております。

まずは、コミュニティの理念の見直しです。日立市コミュニティ推進協議会のコミュニティ宣言に盛り込まれている内容を踏襲することにしました。具体的な活動については、専門部中心であった活動を全体的に横のつながりを重視した専門局を中心に、従来の伝統を守りながら新しい環境に考慮した活動を取り入れて推進していくことにしています。

次に高齢化を考慮した事業で、高齢者向けの見守り活動や健康づくりを重点的に目標を定めて活動を計画していきます。

地域モビリティについては、日立市ゼロカーボン補助金で電気自動車(EV)をリースし事業化していく計画にしました。防災事業においては支部ごとの自主防災組織を強化していく計画にしました。

文化活動や生涯学習活動は地域ボランティアを募集しながら、興味を持つ人たちの集まりとして計画していきます。廃止する事業と新しく計画する事業を年度ごとに分析していきます。

地域の子どもたち向けには、従来の青少年育成部及びレクリエーション事業を継続します。児童室の土・日と長期休業日(夏・冬休み)の子どもたちへの開放を検討してまいります。

交流センターの利用については予約なしで居場所がある交流センターを目指します。

金沢学区コミュニティプラン (令和5年～令和10年)

令和5年3月31日 金沢コミュニティ推進会

コミュニティプランは5年に1回改訂して今後の活動方針を決めていきます。改訂にあたって令和3年度に全住民に対してアンケートを実施しました。その中から浮かび上がった現状の課題について検討を進めてきました。金沢コミュニティ推進会の理念として改めて考え方を整理しました。今後、5か年計画であるコミュニティプランをベースに、毎年、より具体的な事業計画を定期総会等で決定して活動を実践していきます。

1. コミュニティの理念
- ～ 地域が抱える課題の解決に努める ～
1. 未来を担う子供たちの健全な育成を支える。
2. 地域の人々のつながりの大切さを啓発する。
3. 市と協働し、地域の安心・安全を守る。
4. 地域の歴史・伝統を学び、文化を継承する。



2. 歴史

金沢学区地域モビリティが本格的に事業開始！

令和3年から実施してきた地域モビリティ実証事業は令和5年3月31日をもって終了し、4月から本格事業へ入ってまいります。この間、本会員50名・賛助会員120名の皆様のご協力をいただきながら、事業化を検討してまいりました。3月時点で事業化の目途がつき、新しい計画で運行してまいります。令和5年度から交流センターの太陽光発電装置で発電した電力により、電気自動車で運行します。運行する車種は日産自動車のEV車「SAKURA」で、5年間リースすることになりました。交流センターの往復、ショッピング、通院等に利用していただければ、主として山側団地高齢者の「ラストワンマイル」が克

服できるものと思います。本会員及び賛助会員を常時募集しております。体験乗車も含めてご参加ください。



熱戦！！金沢学区パンポン大会！

12月4日(日)、金沢小学校体育館において、「金沢学区パンポン大会」を、体育振興会と共催しました。パンポンは日立市発祥の競技で、市民は誰でも知っているご当地スポーツです。大会前日に、体育振興会の協力のもと、金沢小学校体育館に「パンポン特設コート」を4面作成しました。当日は、小学生からシニアまで32名が参加しました。一般男子・一般女子・小学生(7～8歳)・小学生(9～11歳)の4ブロックに分かれ、4点先取の3セットマッチで総当たり42試合を行いました。

経験者が多かった一般男子・一般女子は、気合の入った熱戦が繰り広げられました。一方、小学生は2年生から6年生まで10名が参加し、和気あいあいと楽しく試合ができました。試合終了後は、ブロックごとに表彰式を行い、集合写真を撮りました。

(レクリエーション部)



ためになりました デジタル勉強会

33名が受講した令和4年度デジタル勉強会は、1月27日(金)に修了式を迎えました。

「デジタルって何なの?」から始まり、ひたちナビの使い方・LINEの楽しみ方・金沢学区コミ推のHP閲覧・ネット通販などを、そして年末には日立税務署の方を講師に迎え、スマホを用いた確定申告の仕方などを勉強しました。

電話・写真・身近な方とのLINEぐらいしかお使いにならないスマホ初心者の方でも、スマホの可能性を実感していただけたと思っています。

金沢学区 ICT化への取り組みとして、最終回に「金沢学区デジタル勉強会」トークルームを使ってもらいました。

行政手続きもデジタル化へと志向しています。一人も取り残さないため、今後ともデジタル勉強会は

続けていきます。スマホの使い方に自信がない、周囲に聞ける人がいない方など、お困りの方はどなたでもご参加ください。

なお、令和5年度は土曜日にデジタル勉強会を開催することを計画しています。スマホを経験されている方はインストラクターとしての参加を、ぜひお願いいたします。

(地域モビリティ部)



正月飾り手作り教室

生涯学習かねさわ「正月飾りづくり」体験講座が、12月17日(土)金沢交流センター多目的ホールにて開催されました。

当日は、ふるさと創生塾・指導員11名のもと、受講者38名が正月飾りづくりに挑戦しました。複数年参加された方のサポートもいただきました。講師の手順説明のあと、しめ縄とさがりの三つ編み作りに取り組みました。休憩をはさんで後半は海老やミカンなどの飾りを付け、最後に家内安全のお札を付けて完成。講座に初参加した方々からは、「三つ編がちょっと難しかった」・「思いのほか良くできました」・「思っていたサイズより大きくて驚きました」などの感想がありました。歳神様を迎える準備も整い、多くの笑顔で講座を終えることができました。

(ふるさと創生塾)



制作手順の説明



助け合って制作



個別に手伝い



立派なものできました!

令和5年新春賀詞交歓会 開催!!

新型コロナウイルス感染防止のために令和2年から中止されていた賀詞交歓会が1月7日(土)、金沢交流センター多目的ホールで3年ぶりに開催されました。

始めに会長を中心に賀詞交換、そして国歌斉唱を厳かに行い、会長年頭のあいさつ、続いて日立市コミュニティ推進課 原田課長、都市政策課 小林課長、台原中学校 高村校長、金沢小学校 高島校長からご祝辞をいただきました。乾杯の後、清野清子さんに日本舞踊を披露していただきました。飲食を控えた短時間の賀詞交換会でしたが、最後にお楽しみ抽選会を行いました。新年の門出と協力を誓い合いました。

(総務部)



3年ぶりの賀詞交歓会



会長あいさつ



和気あいあいと歓談



清野さんによる
日本舞踊



お楽しみ抽選会

楽しかった「みんなで遊ぼう会」

1月22日(日)、「みんなで遊ぼう会」を金沢女性会の協力のもと開催しました。

コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となりましたが、園児・小学生・保護者で総数43名の参加がありました。屋外では、もちつき・竹馬・羽根つきを行いました。もちつきは、子どもたちが交代で、元気よく体験しました。屋内では、コマ回し・ケン玉・メンコ・

お手玉・おはじき・カルタ・ヨーヨー・ベーごま・将棋で遊びました。コマ回し・メンコ・お手玉・おはじきなど初めてのこどもたちは、遊び方を大人に教えてもらいながら、チャレンジしました。ビンゴゲームは大人も子どもも盛り上がり、短い時間ではありましたが、楽しい時間を過ごすことができました。最後につきたての切り餅をいただき、散会しました。(レクリエーション部)



交代で「もちつき」



みんなで一緒に「コマ回し」



「竹馬」に挑戦!

防災意識を高める映画鑑賞会開催

東日本大震災から12年が過ぎました。「天災は忘れたころにやってくる」とは、物理学者・随筆家・俳人の寺田寅彦の言葉です。減災の唯一の方法は、過去の記録を忘れないよう努力するより外はないであろうと戒めています。2月4日(土)に金沢交流センターで開催された映画鑑賞会では、助け合う防災教育と「防災」を「忘災」にしないを目指し、日立視聴覚センター協力のもと、「地震のメカニズム」と「気象災害から命を守る」の2本を上映しました。改めて災害時に命を守る一人一人の防災対策について考える時間となりました。そして災害に強い地域づくり、地域の繋がり「助け合い」をより発展させる機会となった講座でした。(ふるさと創生塾)



防災士・田村さんの話



自助・共助・協働



素晴らしい音色が響きました 利用団体発表会・楽器演奏会

金沢交流センター利用団体発表会・楽器演奏会が、2月19日(日)に開催されました。本センターで練習を重ね、市内各所においてボランティアで演奏活動されている皆様が、地域の方々に感謝の気持ちを表す目的で開催しました。オカリナ演奏歴平均5年の「大空」の皆さんは、「ここに幸あれ」などを演奏しました。昨年10月に20周年記念コンサートを開催したオカリナハートの皆さんは、「心の窓に灯を」など、

オカリナの綺麗な音色を聞かせてくださいました。ウクレレフレンズの皆さんは、総勢15名で「ブルーハワイ」など日本や世界の名曲を楽しく演奏しました。結成15年目のアンサンブルレインボーの皆さんは、1曲1曲丁寧に紹介しながら、ハーモニカを演奏しました。ファニーサウンズの皆さんは、大正琴で、懐かしい音色を聞かせてくださいました。(文化部)



大正琴演奏



オカリナ演奏



ウクレレ演奏



ハーモニカ演奏

青色パトロール実施中！

金沢交流センターでは、令和3年4月から、協力員による「青色パトロール」を実施しています。屋根に青色の回転灯を装着したワゴン車で、金沢学区全域を対象に巡回しています。地域の「安全確保」と「犯罪発生の未然防止」を目的とした自主防犯パトロールです。

○パトロールの実施日は、週1回で金曜日に金沢小学校の下校時間帯に巡回しています。月4回の実施で、走行距離は50Kmを超えます。

○パトロールのポイントは、通学路・児童公園・管理駐車場などです。不審者や不審車両の有無、そして公園の遊び場や周辺の異常の有無をチェックしています。

○パトロール員は現在男女11名で、防犯ベスト・帽

子を着用し、2名1組で巡回しています。地域の目を行き届かせて「犯罪が起きにくい社会づくり」のために継続して取り組んでいきます。



青色パトロール出発！！

不法投棄監視員から

金沢学区の不法投棄回収は、毎月第3月曜日午前中に学区内幹線道路及び山側道路沿い、台原団地駐車場周辺、金沢壽橋近辺をパトロールし、不法投棄物やゴミ等の回収を行っています。

不法投棄には、廃棄物を捨てる一切の行為が含まれます。規模の小さなものと空き缶・ペットボトル・タバコの吸い殻など路上に捨てる「ポイ捨て」があります。規模の大きいものは、家電・家具などの大型ゴミを山中に捨てるなどです。

不法投棄は単に環境や景観を損ねるだけでなく、環境汚染を招くことから廃棄物処理法で厳しく禁止されている犯罪行為です。

不法投棄を目にしたら、金沢交流センターへ早めに通報願います。連絡いただきましたら、適正に対処します。ゴミ一つ無いより良い街づくりにご協力願います。
(不法投棄監視員)



金沢町壽橋



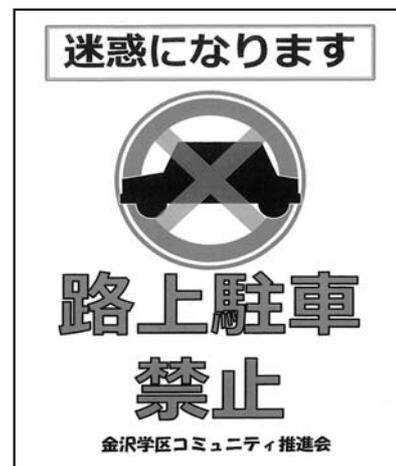
山側道路

不法駐車はやめましょう

最近、学区内の団地を中心に不法駐車が目立っています。団地内の道路は駐車禁止の標識がなくても長時間の駐車は法律違反です。

特に小学生の通学路などで、見通しがきかなくて危険と感じられる不法駐車が多くなっています。金沢学区はみんなの取り組みで、不法駐車のない時代もありました。事故が起こる前にみんなで学区内の安全を守りましょう。

住よいまちづくりにご協力を！



短歌

・ 逝きし人ありてコーラス十周年

マスクはずして記念写真

※コロナ禍の折、マスクをしてのコーラス。創始者、指揮者と相次いで逝きましたが、十周年を終える事が出来ました。

・ 「月きれい」コーラス終えて窓の外

今昇りゆく冬の満月

※日暮れの早い五時半、金沢小グランドの辺りから昇る今年最後の満月をみんなで見眺めていた。

金沢団地支部 湯佐けい子

・ 春蘭満行きかう人も笑みこぼれ

歩も弾みゆく音も軽やか

※春は良いですね。だれもが心弾み、楽しくなっています。さあ、春を満喫しましょう。

・ 紫の筑波峰はるか穏やかに

見渡すかぎり空の青さよ

※里山に登り、ホッと一息しました。遠くに筑波山が見えて、とても素敵な光景でした。おもわず「ヤッホー」と叫びました。

根道ヶ丘団地支部 跡部ふみえ

かねさわ 文芸

俳句

・ 下萌えに小石は位置をずらしをり

※土の中から芽が生え出しその勢いが小石をも動かすほどに感じました。

・ 人の世の節目節目の桜かな

※人生には嬉しい事や悲しい事が桜の時期と重なると思起させるものがあります。

旭ヶ丘団地支部 SAKURA

・ せせらぎを聞いて春待つ山の精

※ハイキングをした時の事。陽射しが柔らかになり川のせせらぎに耳を傾けると、春がそこまできていることを感じました。

・ 満開の花のトンネル闊歩する

※日立の桜の名所・平和通りを歩きました。満開の光景はまるでトンネルのようで素晴らしいかったです。

根道ヶ丘団地支部 浜田直美

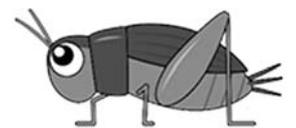
随筆

今どきの食糧事情

最近のテレビの情報で、NTTが食用のコオロギを飼育していて、これから大量生産に取り組むとのこと。乾燥させたコオロギはエビのような味で、なかなか美味しいとのこと。秋の夜に聞く鳴き声は、季節の移り変わりを感じさせるコオロギですが、虫嫌いの私としては、食べなければならぬ状況が来たとき、果たして食べることができるか？

小学校低学年で昭和30年代の頃、食糧事情が悪くタンパク質不足を補うために、母はご近所の方々と袋持参で、田んぼへ行き、イナゴを捕ってきたことを思い出します。母も苦手だったのです。お付き

合いでイナゴ捕りに行ったものの、台所の隅にイナゴが入っている袋がありました。夜中お手洗いに起きると、袋の中で「ガサガサ…」と元気なこと。恐ろしかったという記憶があります。皆さんはイナゴを食べたことはありますか？コオロギは食べられますか？将来を見据えて、野菜を海底の部屋で栽培することも行われています。外気に触れないため、害虫等の被害を受けないそうです。



(瀬ヶ沼 きよみ)